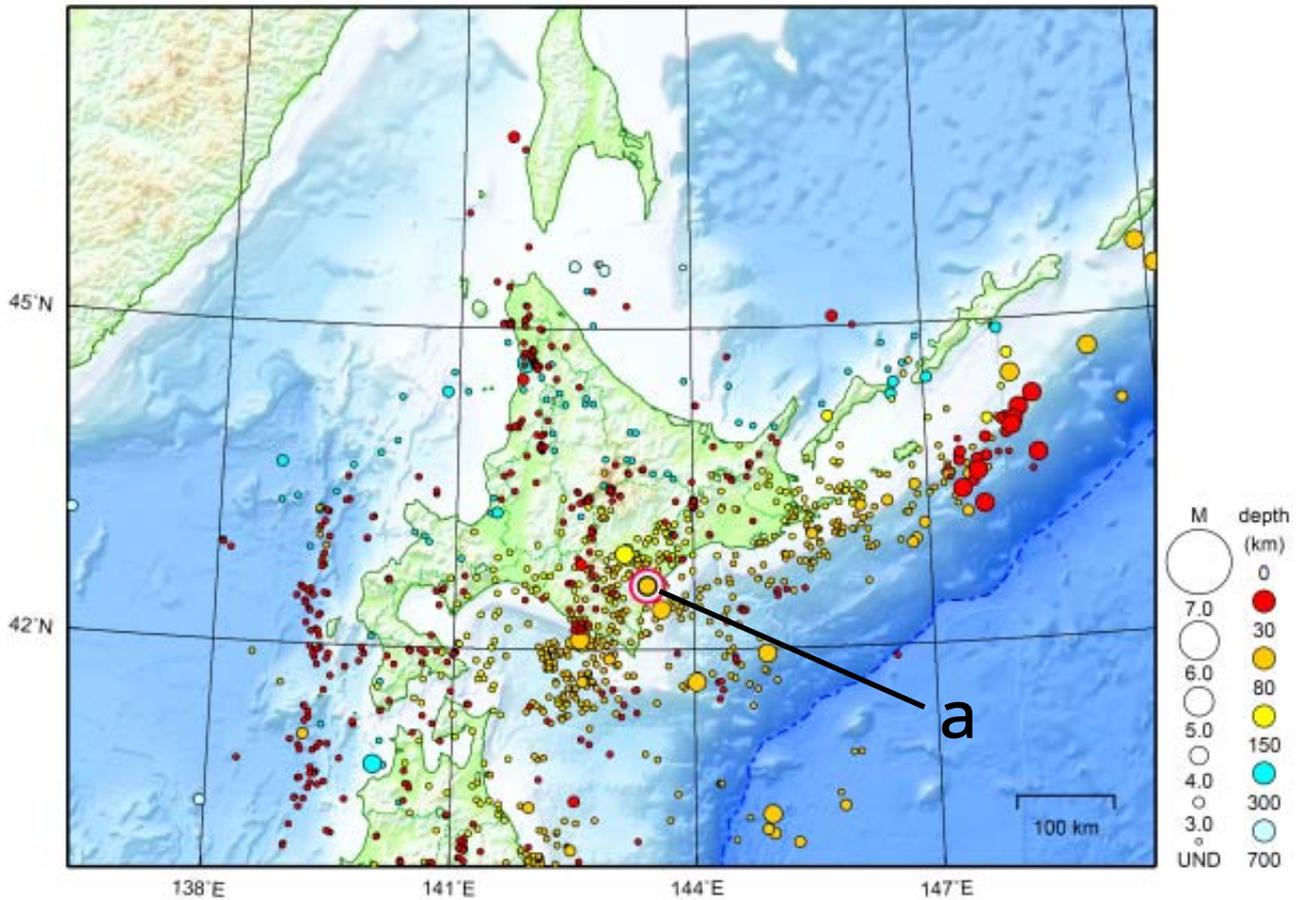


北海道地方

2009/01/01 00:00 ~ 2009/01/31 24:00

N=1245



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 1月11日に十勝支庁中部〔十勝支庁南部〕で M4.7 (最大震度3) の地震が発生した。

() は気象庁が情報発表に用いた震央地名

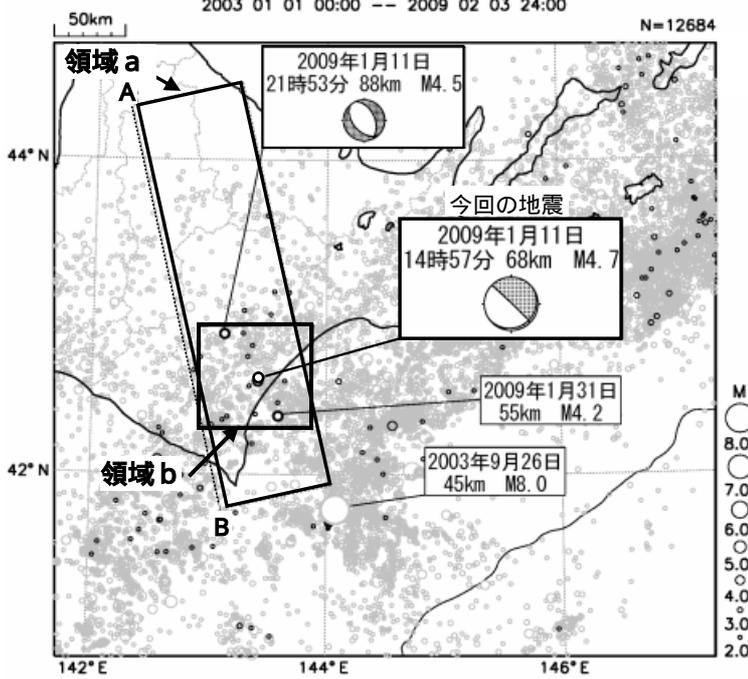
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

1月11日 十勝支庁中部〔十勝支庁南部〕の地震

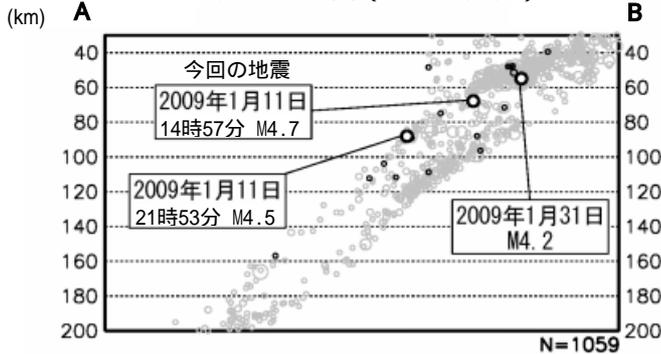
震央分布図
(2003年1月以降、深さ30~200km、M 2.0)
2009年1月以降の地震を濃く表示

() は気象庁が情報発表に用いた震央地名

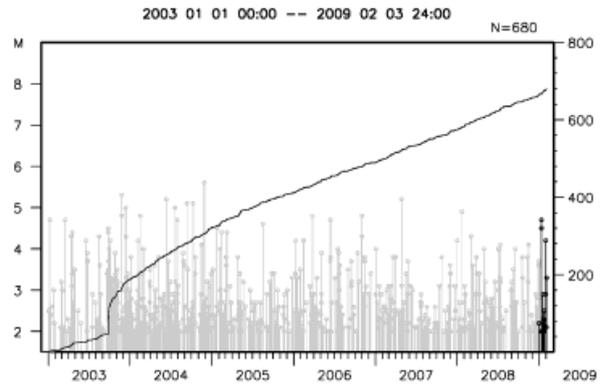


2009年1月11日14時57分に十勝支庁中部〔十勝支庁南部〕の深さ68kmでM4.7(最大震度3)の地震が発生した。発震機構は北北東-南南西方向に張力軸を持つ型であった。太平洋プレートの内部で発生した地震と考えられる。また同日21時53分には、この地震の震央から50km程北西の深さ88kmでM4.5(最大震度2)の地震が発生した。

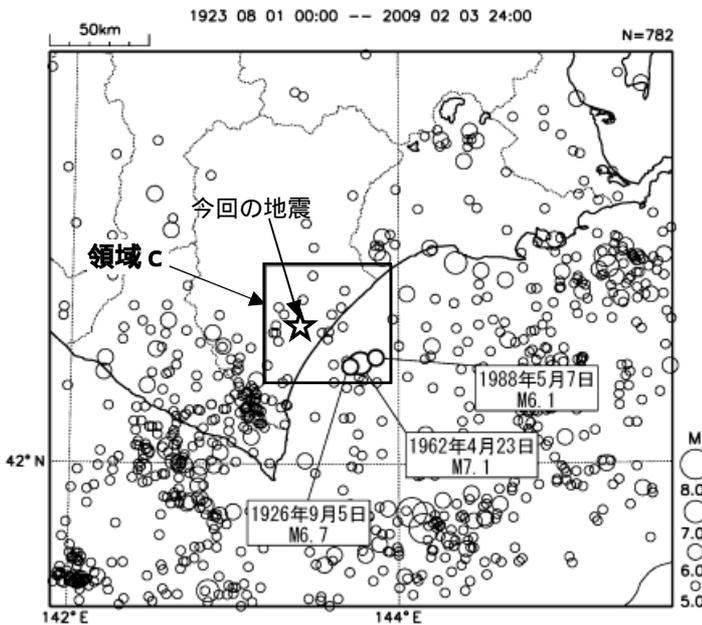
領域 a の断面図 (A - B 投影)



領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図

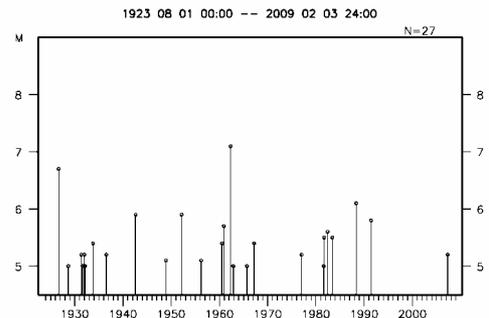


震央分布図
(1923年8月以降、深さ0~200km、M 5.0)



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、1962年4月にM7.1の地震(最大震度5)の地震が発生し、負傷者3名、住家被害158棟等の被害を生じている(「最新版 日本被害地震総覧」による)。この地震により、最大で8cm(十勝港)の微弱な津波を観測した。

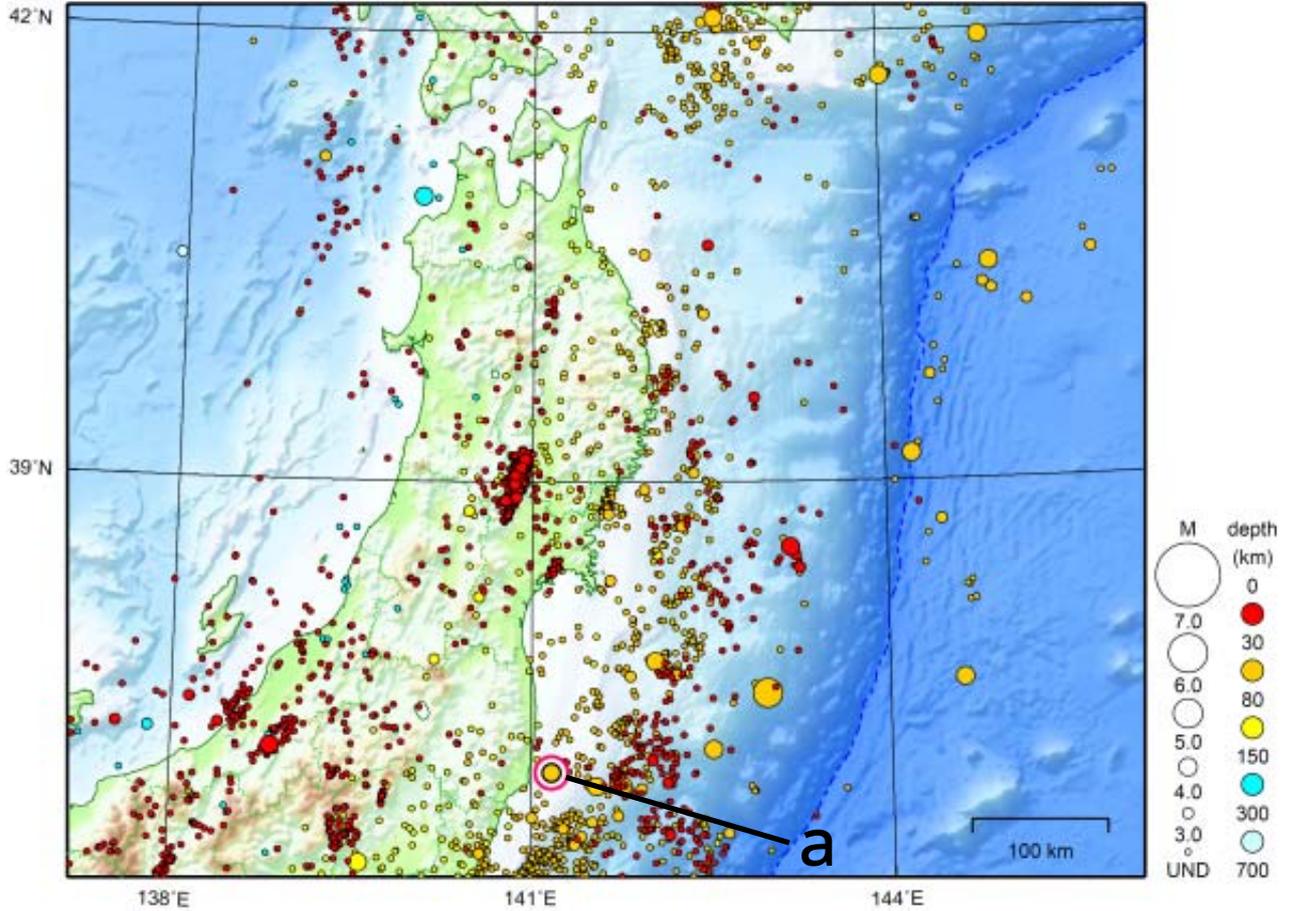
領域 c 内の地震活動経過図、



東北地方

2009/01/01 00:00 ~ 2009/01/31 24:00

N=3485



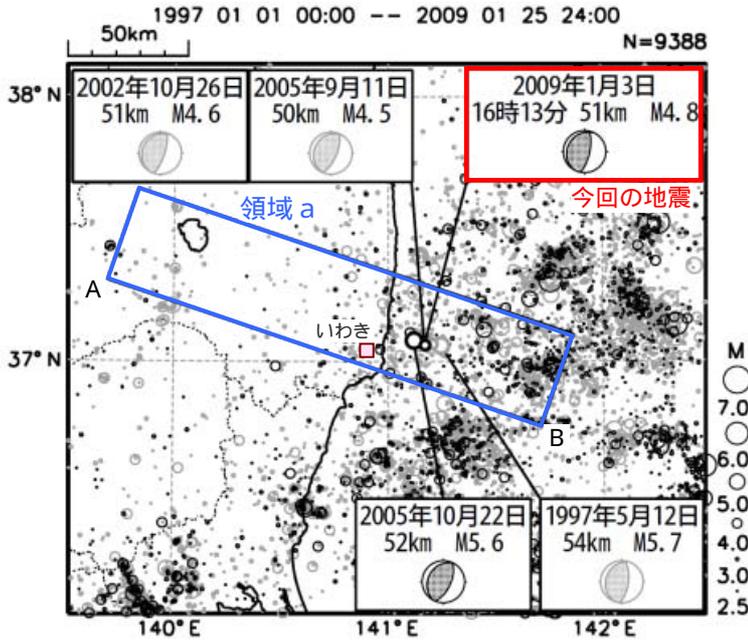
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 1月3日に福島県沖で M4.8 (最大震度4) の地震が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

1月3日 福島県沖（いわき市沖）の地震

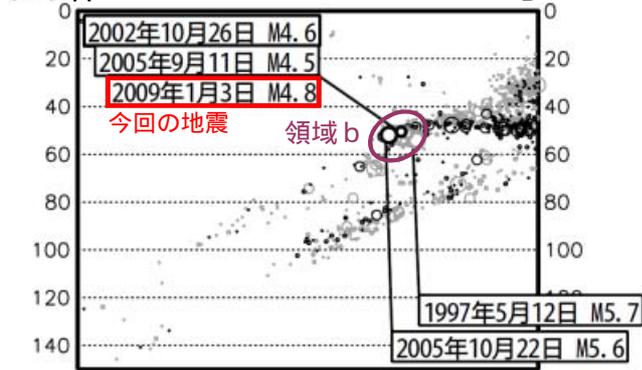
震央分布図（1997年1月以降、深さ0～150km、M 2.5）
2005年10月以降の地震を濃く表示



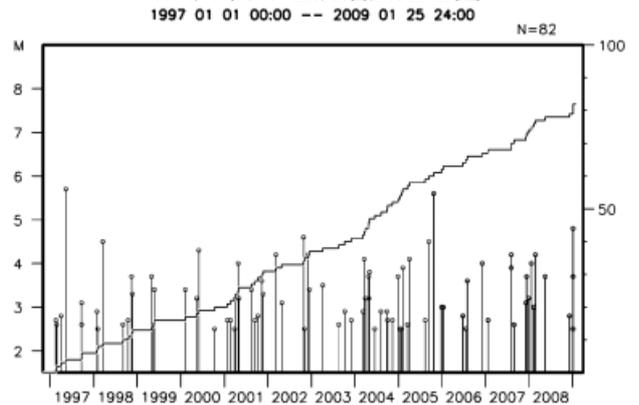
2009年1月3日16時13分に福島県沖（いわき市沖）の深さ51kmでM4.8（最大震度4）の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。翌4日01時02分のM3.7の地震（最大震度2）が発生したが、余震活動は低調であった。

今回の地震の震央付近（領域b）の地震活動を見ると、今回の地震と同じ場所で2002年10月26日のM4.6（最大震度3）の地震など、M4.6前後の地震が2～3年に1回程度の割合で発生している。そのほか、2005年10月22日のM5.6（最大震度4）の地震など、M5.5を超える地震も発生している。

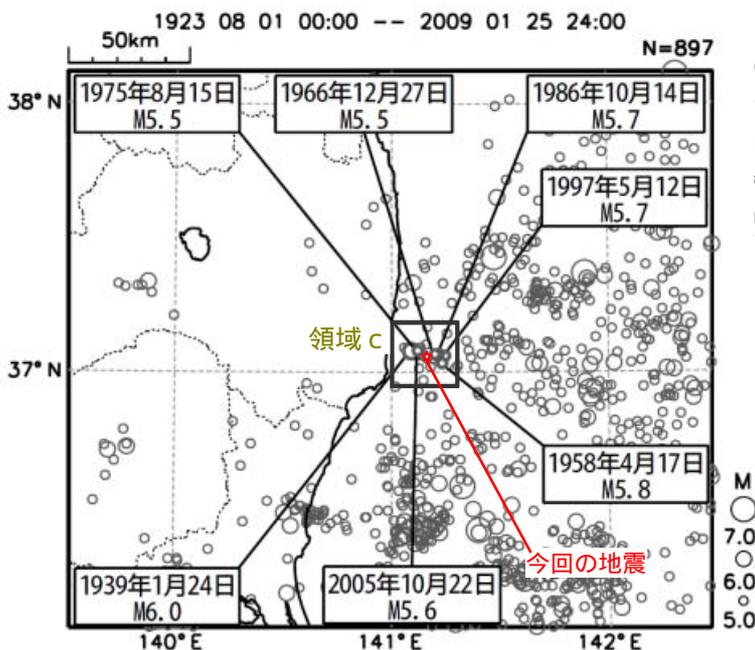
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内の地震活動経過図

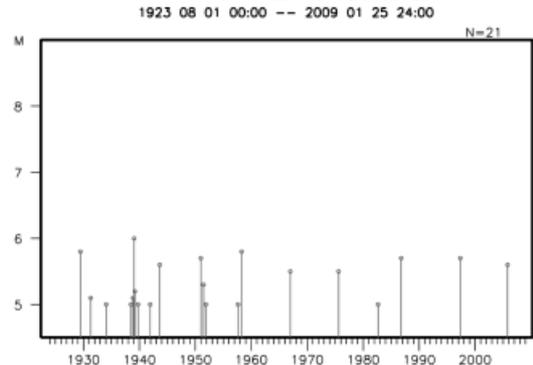


震央分布図（1923年8月以降、深さ0～100km、M 5.0）



1923年以降、今回の地震の震央付近（領域c）では、8年半に1回程度の割合でやや規則的にM5.7程度の地震（最大震度3～4）が10回発生しており、1975年8月15日のM5.5の地震（最大震度3）では、いわき市内でアスファルト道路の盛り上がり、水道管の破裂の被害を生じた（「最新版日本被害地震総覧」による）。

領域c内の地震活動経過図

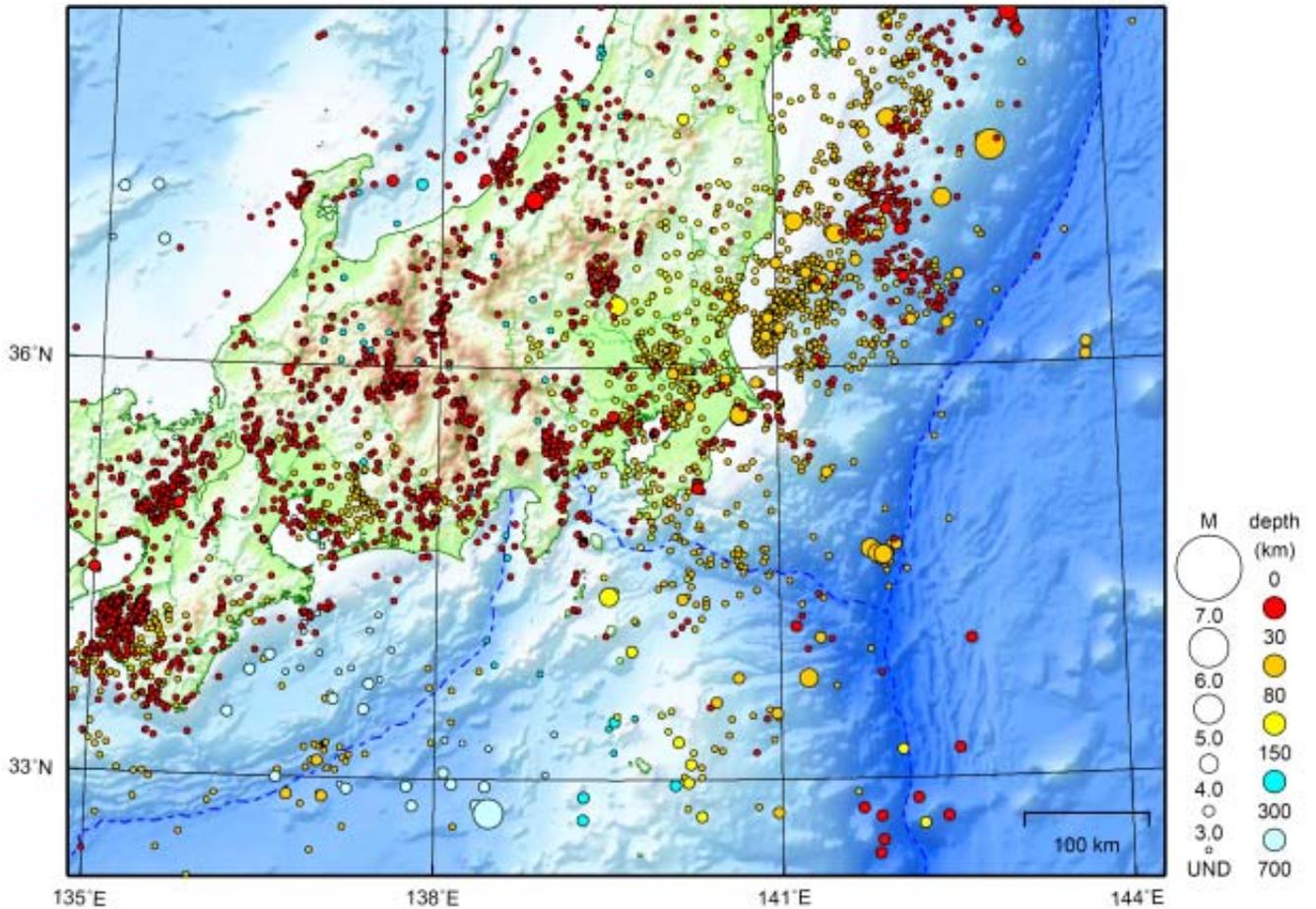


長谷川安秀ほか (2005): 「東北地方における中規模地震の固有地震的地震活動の検出」, 地震2, 58, 67-70.

関東・中部地方

2009/01/01 00:00 ~ 2009/01/31 24:00

N=4564



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

(上記期間外)

2月1日に茨城県沖で M5.8 (最大震度 4) の地震があった。

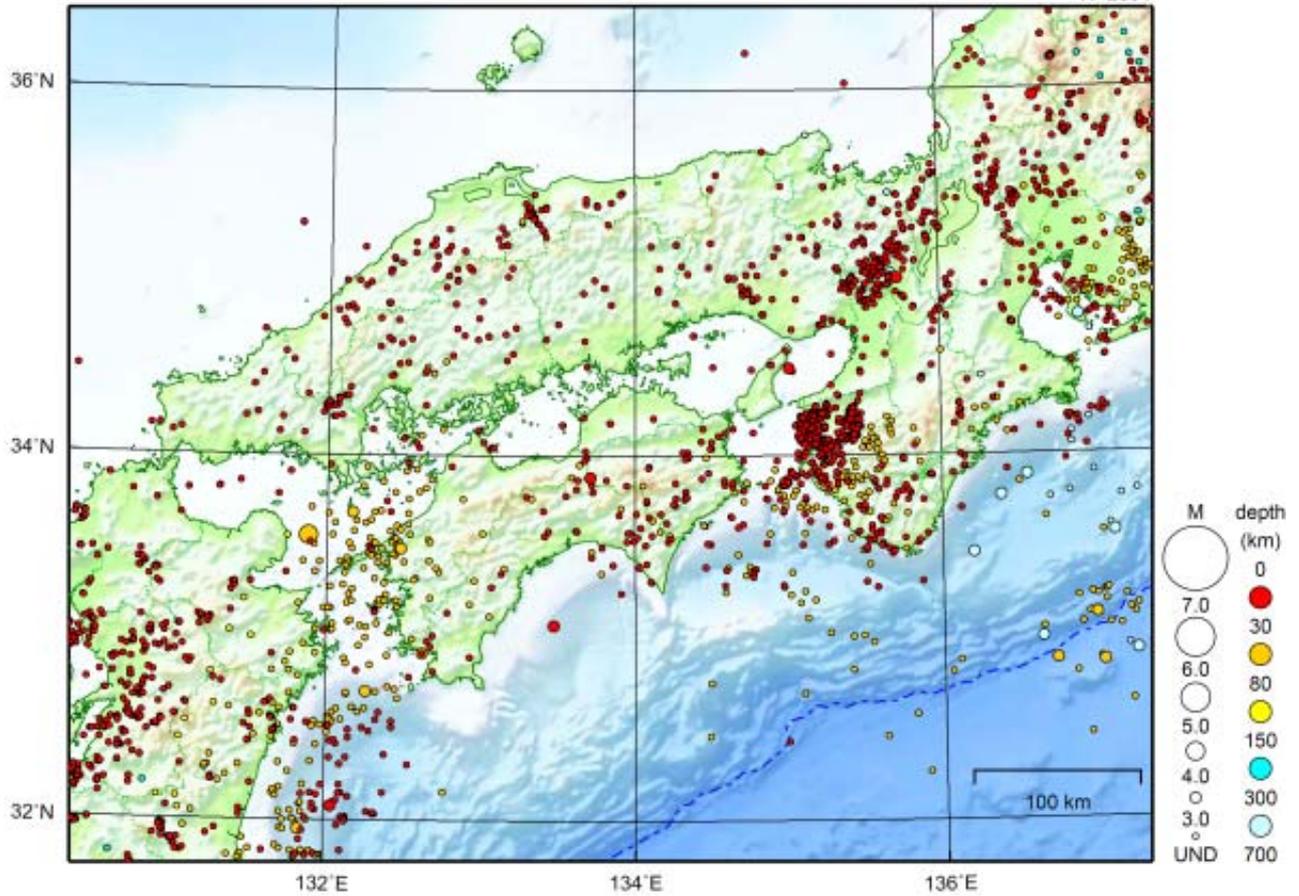
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

近畿・中国・四国地方

2009/01/01 00:00 ~ 2009/01/31 24:00

N=2691



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

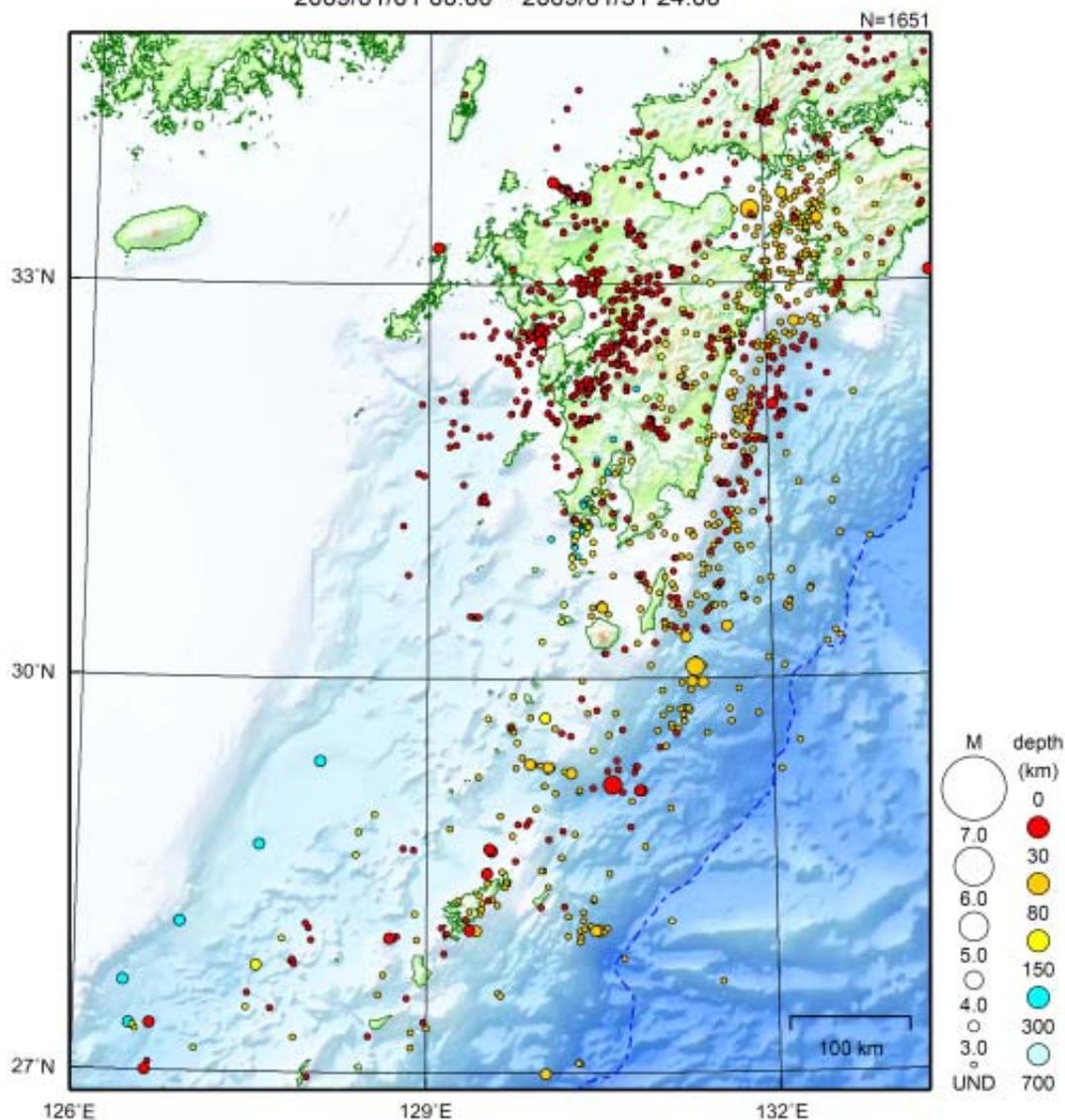
特に目立った活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

九州地方

2009/01/01 00:00 ~ 2009/01/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

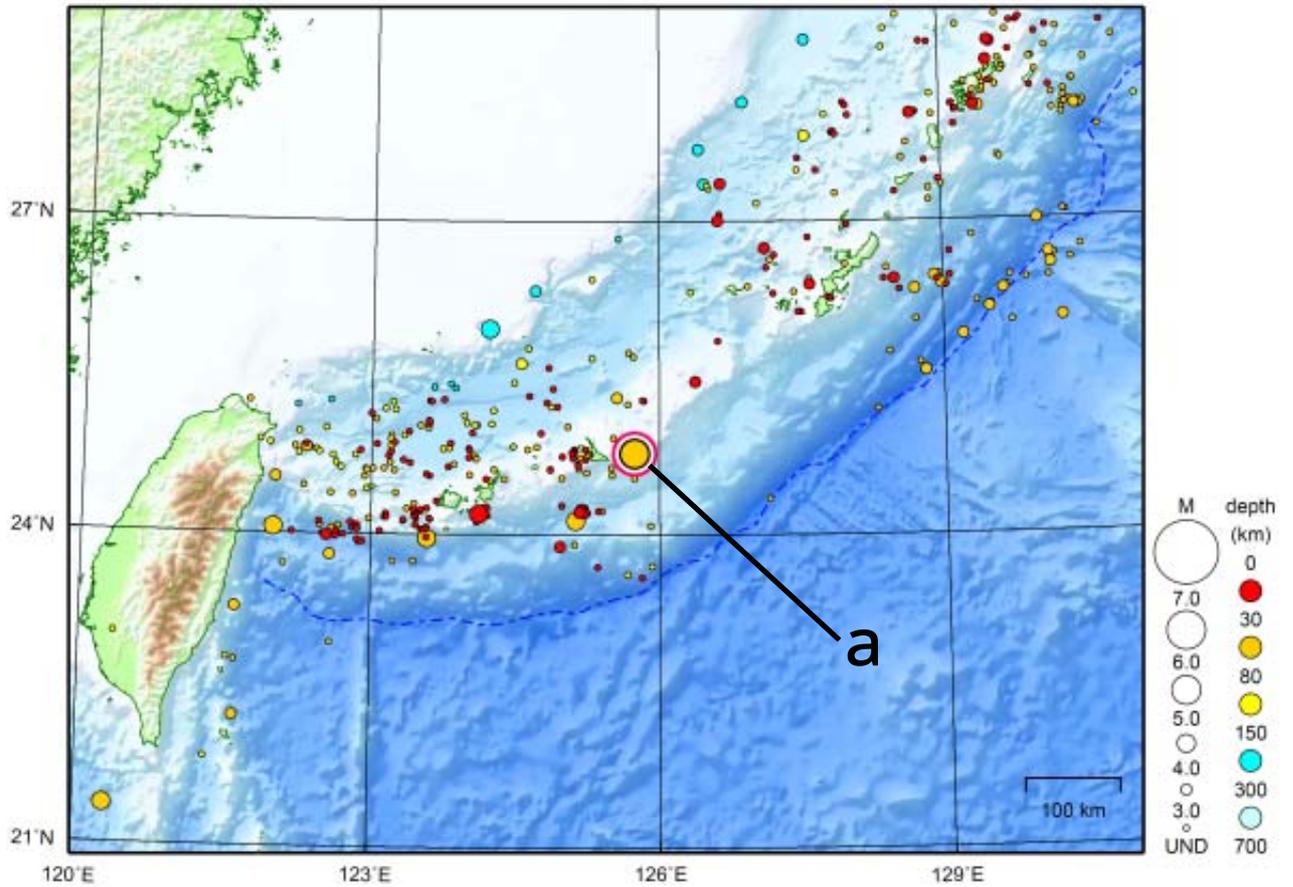
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

沖縄地方

2009/01/01 00:00 ~ 2009/01/31 24:00

N=462



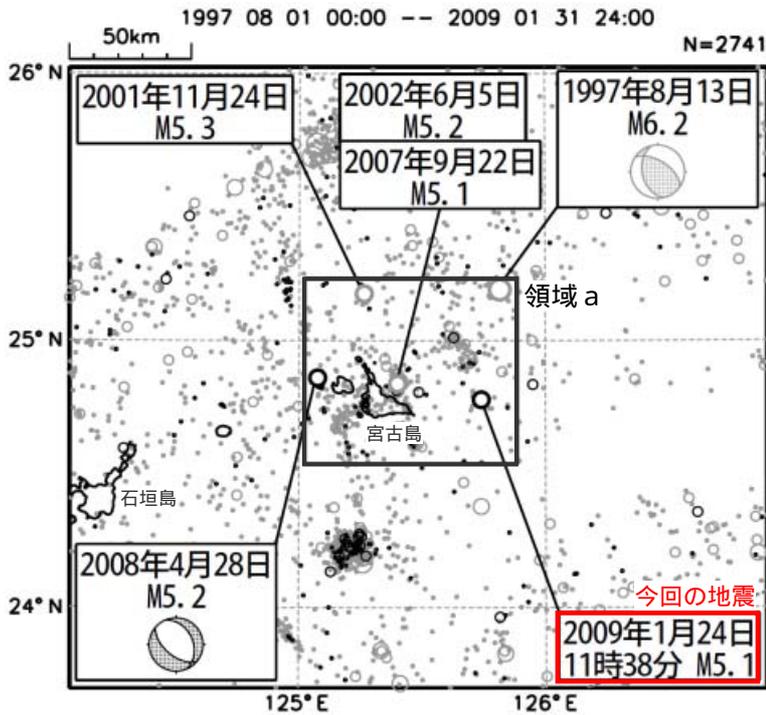
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

a) 1月24日に宮古島近海で M5.1 (最大震度3) の地震が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

1月24日 宮古島近海の地震

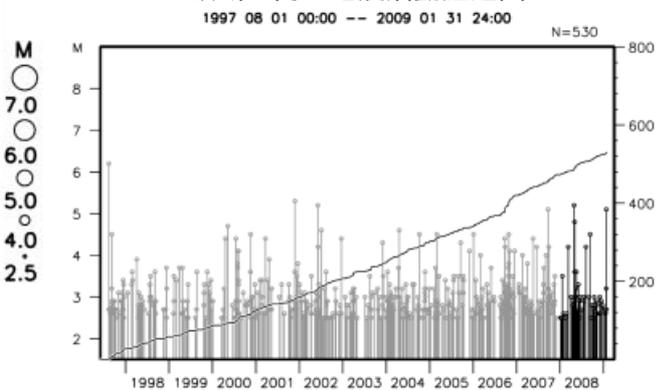
震央分布図 (1997年8月以降、深さ0~120km、M 2.5)
2008年1月以降の地震を濃く表示



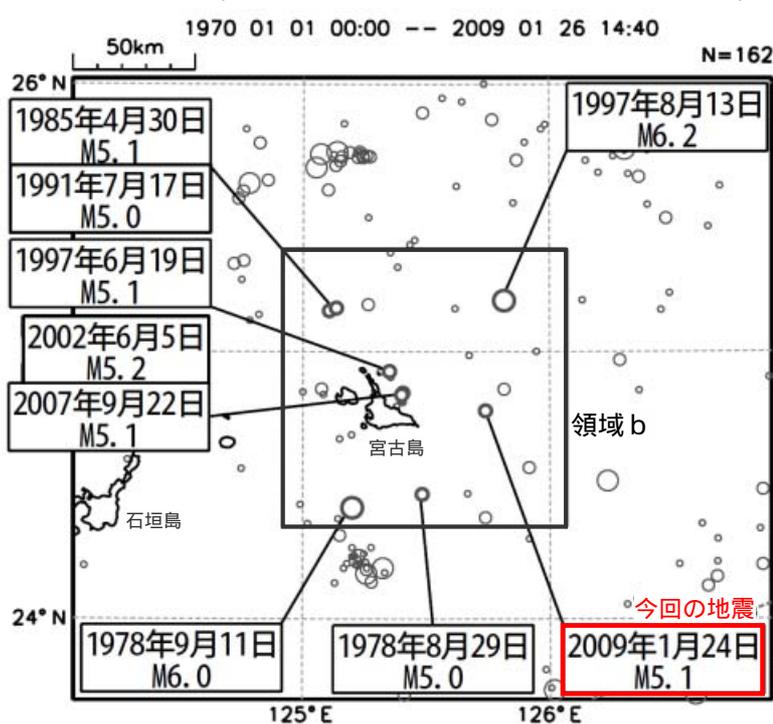
2009年1月24日11時38分に宮古島近海でM5.1 (最大震度3) の地震が発生した。余震は29日07時21分にM2.2の地震を観測したのみであった。

今回の地震の震央付近 (領域 a) の地震活動を見ると、2002年6月5日 (M5.2) 2007年9月22日 (M5.1) の地震などM5.0以上の地震が時々発生しているほか、1997年8月13日にはM6.2 (最大震度4) の地震が発生している。

領域 a 内の地震活動経過図

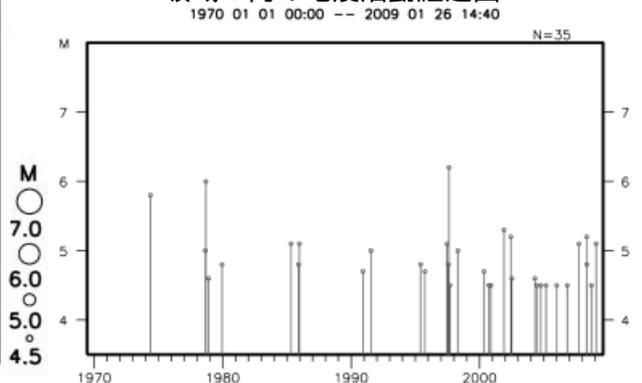


震央分布図 (1970年1月以降、深さ0~120km、M 4.5)



1970年以降、今回の地震の震央付近 (領域 b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。このほか、1978年9月11日のM6.0 (最大震度4) の地震などM6.0以上の地震も発生しているが、島の近傍ではM6.0以上の地震は発生していない。

領域 b 内の地震活動経過図



2000年7月以前については南西諸島の地震観測点が現在より少なかったため、規模の小さめの地震は観測できていない可能性がある

1月16日 千島列島東方〔千島列島〕の地震

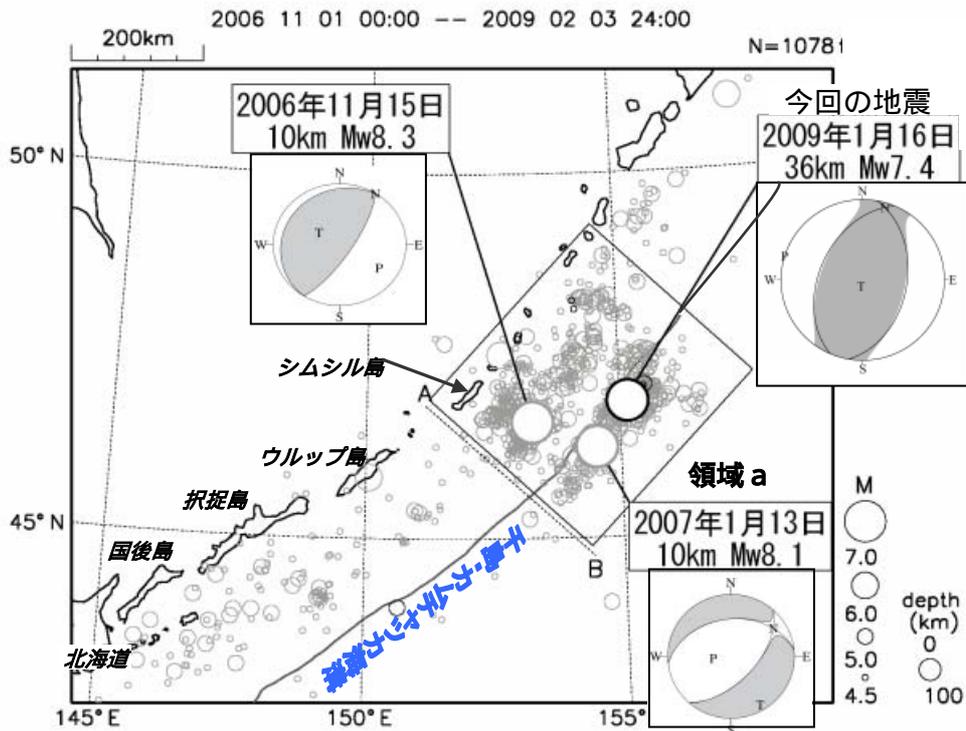
2009年1月16日02時49分に千島列島東方でM7.4(Global CMT解によるモーメントマグニチュードもMw7.4、国内の最大震度2)の地震が発生した。この地震の発震機構(Global CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震により、父島で小さな津波を観測した。

今回の地震の震源の南西側(海溝軸付近)では、2007年1月13日にMw8.1の地震が発生している。また、海溝軸の北西側では2006年11月15日にMw8.3の地震が発生している。

震央分布図(2006年11月以降、M 4.5、深さ100km以浅)

震源はUSGSによる。発震機構解はGlobal CMT解。

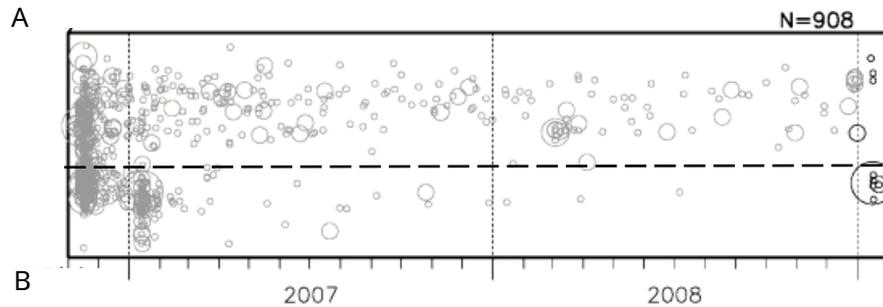
2009年1月以降を濃く表示。



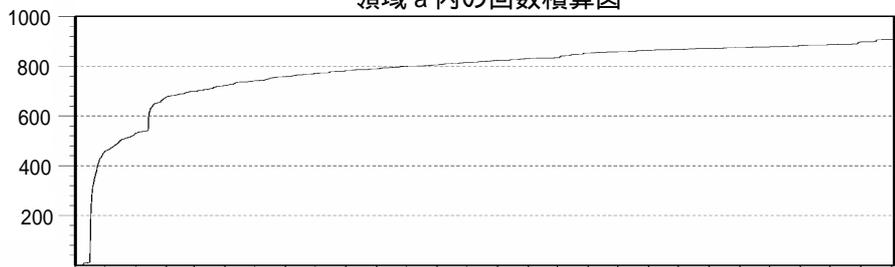
領域a内の時空間分布図(A-B方向)

点線は海溝軸のおおよその位置

2006 11 01 00:00 -- 2009 02 03 24:00



領域a内の回数積算図



千島列島東方沖の地震 震度分布比較

今回（2009/1/16）の地震（Mw7.4）では、2006/11/15 の地震（Mw8.3）に比べ、規模は小さいにもかかわらず、広範囲で震度1以上を観測した。これは、今回の地震がプレート内で発生し、地震波が効率よく伝搬したことによるものと考えられる。

注：Mw 及び発震機構は Global CMT 解による

